

令和4年度 【コミュニティ・スクール】鳥栖北小学校だより



とうかえでⅢ

第13号

令和4年11月11日(金)

鳥栖市立鳥栖北小学校

校長 天野 雄二

鳥栖北小HP <https://www.education.saga.jp/hp/tosukita-e/>

TEL 0942-83-2296

FAX 0942-83-2709

8日の授業参観には、多くの保護者の皆様にお越しいただきありがとうございました。今回も感染対策等を講じながらの参観となりましたが、保護者の皆様にご協力いただいたことに重ねて感謝いたします。

さて、同日には、皆既月食がありました。6年生は理科の授業で月の動きや満ち欠けの学習中でしたので、興味をもって観察した児童も多くあったのではないかと思います。自然の不思議さに触れるという体験は、心が安らぎ、豊かな感情を育み、好奇心を高めます。特に幼少期に近いほどそれが顕著に表れます。自然だけでなく、様々なジャンルの体験活動は子どもたちにとってたいへん意義のあるものです。修学旅行などの校外での学習、校内での体験活動などは重視していきたいものです。

☆修学旅行

お天気に恵まれ、全学年の修学旅行が無事に終わりました。昨年よりも新型コロナウイルス感染症の広がりが少なくなっておりましたが、関係の皆様に対策を講じていただいたことで、計画通りに修学旅行に行くことができました。ほんとうに感謝するばかりです。特に6年生にとっては、一生の思い出にのこる修学旅行となったことでしょう。



平和学習「被爆者講話」



平和集会



フィールドワーク

☆新花いっぱい運動「コミュニティ・スクール事業」

まち協の皆様とグリーンファーム山浦の皆様、ウイントスくんとトットちゃんにもお手伝いいただき、1年生と保護者様で活動できました。寄せ植えた鉢は、鳥栖北地区の交通指導員様、見守り活動されている皆様、子ども110番の家としてご協力いただいている皆様に、地区の保護者様とお子様でお礼のお手紙と共に配布させていただきます。コミュニティ・スクールの取組の一環としての「感謝(ありがとう)」の気持ちを地域の皆様に受け取っていただけると幸いです。

新花いっぱいのコミュニティ・スクールの事業はコロナ禍の中、唯一取り組んでいるものです。「もちつき、凧あげ」「昔遊び」「北地区文化祭参加」なども視野に入れています。地域の声を生かした学校運営、地域の皆様との体験活動などの事業を通して、地域の学校として愛していただけよう取り組む所存です。

コミュニティ・スクールに関するアンケートで、保護者に皆様から「まちコミ」等でも知らせてほしいというご意見が多数寄せられました。そこで、これからは、学校だけでなく、「まちコミ」も活用して、コミュニティ・スクールの取組についてや学校運営協議会の内容をお知らせしていきます。



まち協会長様へ代表児童が寄せ植えをお渡ししました



地域の方と協力しながら寄せ植え

☆鳥栖市青少年育成市民会議研究大会(11/6)



6年生の森さんが「運動会にかけた 多くの熱い思い」というテーマで、副団長としてがんばったことを発表しました。

40名ほどの参観者があり、緊張した雰囲気の中でしたが、堂々と発表できました。

☆研究授業



3の3 算数「何倍でしょう」
「もとにする量の何倍？」という割合の見方・考え方の基礎を身に付ける学習でした。話し合い活動もしっかりできました。



2の4 算数「かけ算」
かけ算を使って同じ数のまとまりに注目して、工夫して数を数える学習でした。楽しそうに勉強する子どもたちが印象的でした。